

5 平成19年度 横浜市立図書館の目標と振り返り

平成19年度に中央図書館と17の地域図書館が目標として進めた事業の内容等と評価は次のとおりです。

基本目標 市民の課題解決や暮らしに役立つ情報を提供し、積極的な図書館サービスを展開します。

目標1 利用者にとって、より便利で快適な図書館を目指します。

*評価の基準についてはP12を参照

項目	具体的取組（達成時期）	達成状況（平成20年3月31日現在）
安全で快適な環境づくり	やさしい日本語の利用案内・各館案内を作成します。（全館、6月）	6月に作成し、全館で配布を開始しました。利用案内等に用いる多言語応答集を全館に設置しました。
評価 B		
ISO14001:企業や自治体などが行う事業活動が環境に与える影響を、組織的かつ継続的に削減するための管理システムを定めた国際規格のこと。	地域図書館5館に、利用者が自由にインターネット情報を閲覧できる公共情報端末を設置します。（一部の地域図書館、3月）	港南、磯子、港北、山内、戸塚、瀬谷の6図書館で設置作業を進めました。
	ISO14001の取組を進めます。（全館、通年）	行動計画を策定するとともに、常に省エネ、リサイクルを心掛け、実践しました。
	市民の不要本をリサイクルする場（リサイクル文庫）を設置します。（一部の地域図書館で試行、通年）	16図書館（中央、鶴見、神奈川、中、南、港南、保土ヶ谷、旭、磯子、金沢、港北、緑、戸塚、栄、泉、瀬谷）で実施しました。
ESCO事業:今までの環境を低下させることなく省エネルギー対策を行い、その結果得られる省エネルギー効果を保証する事業です。削減したエネルギー額の一部からESCOサービス料に充てます。	利用者のマナーが向上するように日頃から働きかけを行うと共に、キャンペーンを実施します。（全館、10月）	10月に全館で汚破損の被害を受けた図書の展示、中央図書館で小学生のマナー向上ポスターの掲示を行いました。
	中央図書館においてESCO事業実施に向けた準備を行います。（中央図書館、3月）	準備を終え、平成20年4月からESCO事業を開始します。
	館内レイアウトの見直しなど、より便利で使いやすい図書館となるよう工夫します。（中央図書館・一部の地域図書館、12月）	同じ分類番号の本を探しやすくするため、写真集の分類を細分化しました。（中央図書館、12月） 児童図書コーナーを変更し、書架を増設しました。（中央図書館、1月） 書架を増設しました。（鶴見図書館、2月） 雑誌のコーナーを改善しました。（金沢図書館、1月）
	戸塚図書館の耐震補強等再整備工事を完了します。（戸塚図書館、7月）	工事を完了しました。（7月）
	金沢図書館・保土ヶ谷図書館を対象に再整備工事のための設計を行います。（中央図書館、3月）	金沢図書館は実施設計を完了しました。（3月） 保土ヶ谷図書館は基本設計を完了し（3月）、20年度に実施設計・工事を行う予定です。
	順次、各図書館にAED（自動体外式除細動器）を設置します。（全館、12月）	広告事業による平成20年度上半期の導入に向け調整しました。
	セキュリティ対策や緊急対応などの危機管理について、職員の意識の高揚と対応力の向上に努めます。（全館、通年）	防災訓練等の機会を捉え、職員の危機管理意識の高揚に努めています。 中央図書館では図書特別整理日（休館日）に全職員を対象とした防災訓練を実施しました。（6月）
	その他の取組	図書館情報紙「@Lib」を創刊し（1月）、図書館事業等のPRに努めました。
資料の収集基準の改訂・公開と充実	雑誌に関する収集基準を明確にし、図書館ホームページ等に公開します。（中央図書館、12月）	現行の「横浜市立図書館資料収集基準」の雑誌、新聞部分の記述をより詳細にし、ホームページで公開しました。（12月）
評価 B		
	継続して同一タイトルの雑誌の寄贈を受ける仕組みを検討し、蔵書の充実を図ります。（中央図書館、11月）	行政内部で定期購読している雑誌・新聞について調査し、リスト化しました。（9月）引き続き、庁内の寄贈を受け入れる仕組みづくりを検討していきます。

項目	具体的取組（達成時期）	達成状況（平成20年3月31日現在）
身近な公共施設での図書の貸出・返却の試行 評価 C	前年度に引き続き、利便性向上に向けて、行政サービスコーナーや地区センター、駅返却ポストなどでの図書の貸出・返却サービスを区役所と連携して試行的実施します。 旭区・二俣川駅、戸塚区・東戸塚駅の両行政サービスコーナーで図書取次サービスを実施します。(中央図書館、通年) 青葉区の図書サービス拡充モデル事業の実施に協力し、奈良、藤が丘、若草台、大場みすずが丘、美しが丘西の各地区センターと区民活動支援センター(田奈ステーション)で図書取次サービスを実施します。(中央図書館、10月) 青葉区内の東急線・駅返却ポストについては、引き続き、市が尾駅、青葉台駅、たまプラーザ駅の3か所に設置します。(中央図書館、通年) 緑区の長津田駅構内に返却ポストを設置します。(中央図書館、10月)	試行事業の利用状況は、19年度も引き続き増加傾向にあります。 〔一日平均の利用実績(平成19年度)〕 二俣川駅行政サービスコーナー(利用者132人、貸出219冊、返却201冊) 東戸塚駅行政サービスコーナー(利用者133人、貸出220冊、返却269冊) 奈良(利用者22人、貸出34冊、返却45冊)、藤が丘(利用者11人、貸出18冊、返却18冊)、若草台(利用者10人、貸出17冊、返却16冊)、大場みすずが丘(利用者5人、貸出8冊、返却8冊)、美しが丘西(利用者10人、貸出16冊、返却20冊)、田奈ステーション(利用者8人、貸出13冊、返却16冊)(10月～3月) 市が尾駅(116冊)、青葉台駅(186冊)、たまプラーザ駅(139冊) 長津田駅行政サービスコーナー内返却ポスト(38冊)(12月～3月)

目標2 市民の調査研究を支援するとともに、図書館からの情報発信に努めます。

項目	具体的取組（達成時期）	達成状況（平成20年3月31日現在）
図書館ホームページの充実 評価 A パスファインダー：情報の探し方をお伝えするサービスで、役に立つWeb情報やテーマに関する図書等を紹介するものです。	コンテンツの充実などを通じて、図書館ホームページによる情報発信を積極的に行います。(全館、通年) レファレンス：利用者の調べものや資料の相談などに対し、必要とする図書館資料の紹介や提供、情報入手の手助けを行うこと。	6月に医療情報コーナーの図書情報を、10月にティーンズページを開設しました。(中央図書館) パスファインダー「横浜の町名・地名を調べる」「薬を調べる」「病院を探す」「地球温暖化を考える」リンク集を掲載し、レファレンス事例集を更新しました。(中央図書館) 情報を追加すると共に、見やすいホームページ作りに努めました。(地域図書館)
企画事業の実施 評価 A	図書館の機能や所蔵コレクションの紹介を目的に、中央図書館で見学会を開催します。(中央図書館、3月) 開港150周年事業に向けた取組として、市民と連携して開港に関連したテーマの講座・展示を開催します。(中央図書館、5月、6月、12月、1月) 市民を対象に初心者向けの情報検索講座を開催します。(中央図書館、12月) 中央図書館1階展示フロアを活用し、地域情報や市政情報の展示・公開を行います。(中央図書館、12月) 各図書館で教科書展示会を開催します。(中央図書館・一部の地域図書館、6月～7月)	3月にキッズページを開設しました。 3月22日に中央図書館バックヤード見学会を開催しました。(参加者53人) 市民団体「横浜開港150周年を楽しむ会」と連携し、中央図書館ホールで講座を開催しました。 第1弾「都市のインフラづくり」5月～6月 3回実施 第2弾「横浜開港と食文化」11月～12月 3回実施 11月11日に中央図書館で2講座を開催しました。(参加者計57人) 保土ヶ谷図書館(10月)・港南図書館(12月)でも「地図を探る」をテーマに開催しました。 次のとおり展示会を開催しました。 7月18日～8月9日「地球温暖化を知る・考える・行動する」展 8月中旬 野毛山動物園が「動物たちの糞」をテーマに展示会を実施しました。 9月5日～25日「風をきって走る - 自転車と文学とヨコハマ - 展」 12月1日～27日「ヨコハマ発！文学賞の世界」 6月12日～7月8日に全館で延べ137日間展示しました。(来場者：合計1,552人)

項目	具体的取組 (達成時期)	達成状況 (平成20年3月31日現在)
(企画事業の実施)	図書館総合展に出展し、横浜国立図書館を積極的にPRします。(中央図書館、11月)	11月7日～9日にかけて図書館総合展に出展し、図書館案内やレファレンス資料を来展者へ配布しました。(図書館総合展 延べ23,090人) フォーラム「新たなニーズに対応する図書館サービスとその経営」にパネリストとして出席し、医療情報サービスを紹介しました。
	中央図書館で市内の大学と連携した市民向け講座を開催します。(中央図書館、10月～11月)	「よこはま大学リレー講座」全12回を9月30日～11月17日に中央図書館ホール・会議室で開催しました。
	区役所等と連携し、郷土資料の展示会などを行います。(一部の地域図書館、12月)	鶴見、神奈川、中、南、保土ヶ谷、磯子、山内、泉の各図書館で実施しました。 区制80周年記念パネル写真と本の展示「鶴見線のものがたり」(鶴見図書館) 神奈川図書館開館20周年記念事業で郷土資料展・講演会 区制80周年記念展示「中区ゆかりの人と本」(中図書館) 「磯子区の四半世紀を振り返る」(磯子図書館) 山内図書館開館30周年記念事業の一環で写真展「あざみ野 あの時の昭和と平成」及び講演会「鷲神社の祭礼と石川村」を実施しました。またこの他に山内図書館では展示会「青葉区の大山街道」を実施。 「いずみ野と和泉川周辺の野鳥写真展」(泉図書館)
外国人市民へのサービスの向上 評価 B	ハンゲル・中国語の資料のパソコンによる検索を準備します。(中央図書館、12月)	新たに資料目録カード約5,000件をデータ化しました。
市民の調査研究への支援 評価 C	Eメールでのレファレンスを引き続き進めます。(中央図書館、通年)	1年間に812件の相談を受け付けました。
	ホームページで公開しているレファレンス事例集をさらに充実させます。(中央図書館、通年)	毎月事例を追加し、掲載件数が22になりました。
課題解決に役立つ情報の提供 評価 B	インターネット上の情報を積極的に収集し、使いやすい形にして提供します。(中央図書館、通年)	国や市のホームページから入手した「麻しん(はしか)」「熱中症」「冷凍食品」の情報を印刷し、医療情報コーナーの展示架に置き、閲覧できるようにしました。
	目録やパスファインダーを作成、提供します。(中央図書館、通年)	展示にあわせて、「美空ひばり」「自転車」「横浜関連の文学賞」の目録を作成するとともに、「地球温暖化」では、パスファインダー(一般用と児童生徒等の学習用の2種)、雑誌記事目録、新聞記事目録を作成しました。 「横浜の地図」「薬」「病気」「百科事典」「統計情報」「雑誌記事」のパスファインダー、「ヨコハマ地図」「電話帳」「教科書」の目録を作成しました。
	医療情報コーナー、ビジネス資料コーナー、外国語本コーナーの資料の充実に努めます。(中央図書館、通年)	新刊を随時、購入・追加しました。 関係部署・施設に働きかけ、チラシ・パンフレット等を送付してもらい、設置しました。
横浜関連資料の収集・保存・活用 評価 C	行政資料や郷土資料のほか地域情報の収集に努め、市民が必要とする情報を提供します。(全館、通年)	情報の収集、提供に努めました。 泉図書館では地域の農産物を展示・紹介しました。
	市史資料室の中央図書館への移転を支援し、横浜の歴史に関する資料の一層の活用と利用者の利便性の向上を図ります。(中央図書館、1月)	市史資料室の移転、開設を支援しました。 市史資料室と連携をとり、参考となる資料を相互に紹介しました。
	文化財課と連携し、郷土資料等の企画展示を4館で実施します。(一部の地域図書館、3月)	文化財課・埋蔵文化財センター等と連携し、中央、南、保土ヶ谷、旭、緑、山内図書館で郷土資料の展示会を実施しました。
行政への支援 評価 C	市政の業務遂行に必要な資料・情報を提供することで、行政サービス向上のための支援を行います。(中央図書館、通年)	1年間に1,195件の相談を受け付けました。

目標3 「横浜市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動の推進に努めます。

項目	具体的取組（達成時期）	達成状況（平成20年3月31日現在）
<p>読書の支援</p> <p>評価 A</p>	<p>おはなし会や読み聞かせの講習等を通じて、保護者に子どもの読書や図書館利用を促します。（全館、通年）</p> <p>一部の館に設置されていた「ティーンズコーナー」を全館に設置し、10代の人たちの読書習慣の獲得・支援、社会参加につながる情報提供を行います。（全館、通年）</p> <p>一部の地域図書館で福祉保健センターと連携して、乳幼児向けのおはなし会や資料配布を行います。（一部の地域図書館、通年）</p>	<p>横浜市立図書館では定例・親子・特別おはなし会を全館で延べ453回実施、6,715人の参加がありました。</p> <p>市民ボランティアが市立図書館で行ったおはなし会は9館で延べ241回、延べ7,748人の参加がありました。</p> <p>「子ども読書の日：4月23日」関連事業を実施しました。</p> <p>「読書スタンプマラソン」「読んでみよう こんな本」（図書展示）（全館）/「第18回読書感想画コンクール横浜地区入賞作品展示」（中央）/「司書のおすすめ本」（紹介文と図書の展示）、「小学生が選ぶ、ぼくの・わたしのおすすめ本」（小学生による本の紹介を掲示）（神奈川）/「子どもの読書の相談会」（旭）/「図書館のおすすめ！絵本ミニ講座」（磯子）/「絵本の読み聞かせ講座」（港北）/「絵本キャラクター人気投票！！」（都筑）</p> <p>中央図書館では読書フェスティバルを開催しました。</p> <p>読み聞かせ等ボランティア養成講座を行うほか、地域のおはなしフェスティバルなどのイベントに参加し、図書館利用や子どもの読書推進をPRしました。</p> <p>10月7日親子科学あそび講座を開催、参加者は10人でした。（中央図書館）</p> <p>ボランティアグループによる「おはなしフェスティバル」が南図書館で開催されました。（南図書館、協力名義）</p>
<p>ボランティアの養成・支援、市民との協働</p> <p>評価 B</p>	<p>読み聞かせ等ボランティア養成講座を8回実施します。（中央図書館・一部の地域図書館、12月）</p> <p>読み聞かせ等ボランティア交流会を5館で開催します。（中央図書館・一部の地域図書館、12月）</p> <p>ボランティアのための図書修理講座を実施します。（中央図書館、12月）</p> <p>市内の読み聞かせボランティアグループの研修会に司書を講師として派遣します。（中央図書館・一部の地域図書館、通年）</p>	<p>読み聞かせ等ボランティア養成講座は、8館で1コース3回の講座を行い、延べ558人の参加がありました。</p> <p>3月21日「南区おはなしボランティア支援講演会」を開催しました。（南図書館）</p> <p>南・港南・栄・泉図書館で計8回行い、延べ216人の参加がありました。</p> <p>中央図書館で2回行い、37人の参加がありました。</p> <p>瀬谷図書館でも地区センター職員への研修を行いました。</p> <p>横浜市立図書館6館で地区センターやコミュニティハウス、地域のボランティアグループなどに延べ11回司書を講師として派遣し受講者は延べ221人でした。</p> <p>学校ボランティアへの講師派遣については12館で行っており受講者は延べ321人でした。</p>

項目	具体的取組（達成時期）	達成状況（平成20年3月31日現在）
学校教育及び学校図書館への支援 評価 C	児童・生徒の図書館見学や職業体験学習を受入、内容の充実に努めます。（全館、通年）	図書館見学は延べ199回7,460人、職業体験・職業インタビューは129回474人を受け入れました。内容についても各館で充実に図りました。
	利用案内の配布などを行い、教職員向け貸出制度の普及に努めます。（全館、通年）	教職員対象の研修会等を利用して、教職員向け貸出案内・学校向け図書館来館利用案内を配布し、普及に努めました。
	学校図書館向けに新刊情報を提供する機会を設けます。（中央図書館、12月）	11月に開催した資料譲渡会にあわせて「学校図書館向け図書展示会」を実施しました。図書リスト「読んでみようこんな本」及び「調べもの学習に役立つ本」を作成し、配布しました。
	児童書の図書リストを作成し、学校へ情報提供していきます。（中央図書館、12月）	課題や問題点を整理しました。
	司書教諭等学校図書館担当者向けの研修に司書を派遣します。（中央図書館・一部の地域図書館、通年）	11館で、延べ21回司書を派遣しました。
	市立図書館司書が学校図書館支援センター事業協力校を訪問し、蔵書や運営に関する案内や助言を行います。（中央図書館、3月）	小中学校教育課学校図書館担当指導主事、学校図書館支援スタッフに同行して、協力校3校を訪問し、蔵書や運営に関する情報交換・助言を行いました。

目標4 これからの図書館を視野においた取組を進めます。

項目	具体的取組（達成時期）	達成状況（平成20年3月31日現在）
横浜市立図書館のあり方検討 評価 C	学識経験者や市民代表を委員とする「横浜市立図書館のあり方懇談会」を開催し、市立図書館のあり方について検討します。（中央図書館、6月）	平成18年10月から平成19年6月まで合計8回の懇談会を開催して終了し、平成19年8月に報告書の提出を受けました。
	「横浜市立図書館のあり方懇談会」での意見を参考に、今後の市立図書館のあり方について検討します。（中央図書館、12月）	今後の具体的なサービスのあり方や運営手法について検討を行っています。
効率的な図書館運営と財源確保 評価 B	管理運営経費の節減に努めるとともに、広告事業等により自主財源の確保を図ります。（全館、通年）	ホームページへのバナー広告掲載、パンフレットラックの設置で財源の確保に努めました。広告主から平成20年度図書館カレンダーの寄贈を受けました。

目標5 図書館スタッフのレベルアップを行います。

項目	具体的取組（達成時期）	達成状況（平成20年3月31日現在）
窓口対応の向上 評価 C	利用者へのあいさつ・声かけを励行し、親切・ていねいな対応に努めます。（全館、通年）	随時、朝のミーティングで不適切な事例を取り上げて注意を喚起する等、窓口対応の向上に取り組みました。
職員の資質の向上 評価 C	利用者の要望等に十分に答えられるよう専門研修を実施します。（中央図書館、通年）	専門研修として「図書館事情」「レファレンス」「児童サービス」を延べ6回実施しました。新採用1～3年の司書を対象に「フォローアップ研修」を実施しました。一般研修として「対応研修」「救命・AED操作研修」を実施し、延べ138人が参加しました。他に、県立図書館等の機関が実施した専門研修に延べ108人の職員を派遣しました。

取組の評価

評価は図書館の内部評価です。

段階	内容
A	優れた取組があり、目標を大きく上回る成果があった。
B	目標どおり取組を実施し、目標を上回る成果をあげた。
C	目標どおり取組を実施し、一定の成果をあげた。
D	目標どおりの取組ができなかったため、十分な成果をあげることができなかった。
E	実施できていない。課題の整理・計画の見直しが必要である。